

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0509
施設名	あすなろ保育園
施設所在地	東京都板橋区大和町36-4
法人名	福祉法人社会福祉会あすなろ保育園福

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

「いのち」

<テーマの設定理由>

毎年2月に作品展（1年間子どもたちが作った作品を展示）を行っており、今年は「いのち」をテーマに作品作りを行った。5歳児が国立科学博物館へ行き、恐竜や動物の模型を見ながら自分たちで作りたいものを決めたり、図鑑や映像で恐竜の骨や体の作りを見て興味を深めていった。3・4歳児にも、「いのち」ってなんだろう？という問いかけから始まり、自分たちの身の回りのもの（紙や机、給食、様々な素材など）も、元は動物や植物のものもあるね、と身近なもの結び付けて興味を深めた。

## 2. 活動スケジュール

4月に子供たちと話し合い、今年のテーマについて決めた→「いのち」のテーマの中で、どんな作品を作りたいか子どもたちと話し、5歳児は国立科学博物館へ恐竜や生き物の模型・全身骨格の観察に。乳児も、花を種から育て、水をあげながらその成長の様子をカメラでも記録した→きりんやゾウ、マンモスや海の生物、乳児クラスもクラス共同で大きな動物作品を作ったり、どんぐりや木の葉など自然物を使った作品を作った。幼児クラスは、本物の写真を見ながら製作をした→2月の作品展で、4月から作りためた作品を、園内に飾り保護者と一緒に見て回ってもらい楽しんだ。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・国立科学博物館の見学（ピクニック）
- ・乳児クラスが種から育てた花・幼児クラスは夏野菜の栽培をし、その成長を写真・動画で記録する iPod
- ・木の葉、どんぐり、まつぼっくりなどの自然物
- ・恐竜を見るDVD、パソコン
- ・牛乳パックやトイレトペーパーの芯などの廃材

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

幼児クラス（特に4・5歳児）は、生き物、中でも恐竜に関する興味が深まり、骨がいくつあるのか、皮膚はどんな様子なのか、どんな種類がいてどのくらいの大きさなのか、など自分たちで興味を持ち、図鑑やDVDなどを通して興味関心を深めていった。詳しくなった子が他の子に教える姿もよく見られた。乳児も種から目が出て、葉が伸びる様子を0歳児クラスから楽しんで観察をしたり、戸外では自分たちで自然物を収集して喜んだり、自然との関わりの中で「いのち」に触れることができた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「これは何ていう恐竜なの？」という興味から始まり、保育園だけでなく家庭でも興味を持って調べてくる園児もいて、「じゃあこれは何？」と詳しくなったお友だちに聞いたり、子ども同士で教え合う姿が見られた。作品を作って、「これ、僕が作ったんだよ！羽がこんな形で・・・」と作った作品を保育者に嬉しそうに説明していた。乳児クラスは花の成長を見て、「はっぱでできたね！」「おおきくなってる！」と実際に触ってみて花が成長したことを楽しんでいる様子だった。幼児クラスが育てている夏野菜を見て、実がなってるよ！と保育者が見せ、「ピーマンマンダー！」「なすおっきいね」と観察をしていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子供たちからテーマを引き出し、自分たちの興味関心に合ったテーマにしたので、子供たちもやらされている感がなく、自分たちで興味を持ったことを調べたり、保育者よりもどんどん詳しくなっていく様子を見て、子供たちの探求する気持ちを大切に、来年度も保育していきたいと感じた。「いのち」をテーマにしたことで、日常生活にも結び付けやすく、こどもたちから気づいたことを伝えてくれる場面もよく見られた。